



タイトル「**2017年度シラバス**」、フォルダ「**経済経営学類**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	ビジネス・リサーチ I		
担当教員	中村 陽人		
対象学年	2年,3年,4年	クラス	
講義室			
開講学期	前期		
曜日・時限	水 2	単位区分	自由,選必,選必自由
授業形態	通常講義	単位数	2
準備事項			
備考			
ナンバリング			
授業概要とねらい	近年の企業経営では、大企業はもとより中小企業であっても、実証的なデータを取得・分析し、その結果に基づく意思決定を行なおうとする動きが加速しており、調査・分析にかかわる知識やスキルがビジネスパーソンに強く求められるようになってきました。本授業では実証的な手法の中でも特に定量的な調査手法に重点を置き、その知識とスキルの習得を目指します。講義中心ですが実際の調査票を比較したり、標本サイズを算出してサンプリングを実施したりするなど、適宜、実習的な要素を取り入れます。また、実際に企業で行われた調査について取り上げ、意図や問題点を考察するなど、実務の世界でいかに適用するか、という実践的な視点を重視します。なお、ここで得られる知識やスキルは主張（提案）の強力な根拠となるものであり、実証研究にもそのまま活かすことができます。		
望ましい水準	<ul style="list-style-type: none"> 各種調査手法の特徴を理解し、目的に合った調査手法を正しく選択することができる。 各種調査手法を実際に用いて、必要なデータを入手することができる。 		
授業計画	回	内容	
	1	オリエンテーション、調査・分析のための基礎知識	
	2	調査手法とデータの分類	
	3	質問法①（測定と尺度）	
	4	質問法②（構成概念と妥当性）	
	5	質問法③（調査票の作成①）	
	6	質問法④（調査票の作成②）	
	7	質問法⑤（標本抽出）	
	8	質問法⑥（標本サイズの決定）	
	9	質問法⑦（データ収集）	
	10	投影法	
	11	実験法①	
	12	実験法②	
	13	面接法	
	14	観察法	
	15	まとめ	
	16		
教材・教科書	教科書は特に定めず、毎回資料を配布します。		
参考図書	適宜、紹介します。		
参考URL	適宜、紹介します。		
授業以外の学習	何より授業中に集中して理解してしまうことが重要です。あとは知識を定着させるために授業終了直後や、授業開始前の細切れの10分をうまく活用して復習しておけば、期末試験直前になって徹夜して暗記し		

	なければならぬ、というような事態にはなりません。
成績評価の方法	平常点（復習テスト）と期末試験の結果を得点化し、その合計点（原則300点満点）で成績評価を行います。 ・授業の始めに行う復習テスト（10点×13回+20点×1回=150点） ・期末試験（150点）
成績評価の基準	300点満点（原則） A：270点～ B：240点～ C：210点～ D：180点～ F：180点未満
オフィスアワー	特に定めていませんので、事前にメールで連絡してください。
留意点・注意事項	・復習テスト、正規試験における不正行為には厳しく対処します。 ・成績評価の仕方について詳しく説明するので、第1回目の講義に必ず出席してください。
その他	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け1	経済経営学類のディプロマポリシー／物事の本質をつかむ分析力と論理的思考力を身につけている（経済経営学類Ⅱ-1）
カリキュラムにおける当該科目の位置付け2	経済経営学類のディプロマポリシー／客観的、論理的に思考し、柔軟な考察を展開できる（経済経営学類Ⅱ-2）
カリキュラムにおける当該科目の位置付け3	経済経営学類のディプロマポリシー／経済学・経営学分野の知識と分析ツールを実践するための基礎基本（経済経営学類Ⅲ-1）
カリキュラムにおける当該科目の位置付け4	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け5	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け6	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け7	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け8	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け9	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け10	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け他	

